

(様式第11号) (第24条関係)

太陽光発電施設設置届出書

令和8年 4月 9日

長野県知事 様

住 所 東京都中央区京橋二丁目2番1号  
氏 名 第一太陽光発電合同会社  
代表社員 株式会社レノバ  
職務執行者 長浜谷直樹

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第24条第1項の規定により、  
下記のとおり届け出ます。

記

太陽光発電施設の設置の場所	長野県上伊那郡飯島町七久保3916-1	
事業区域の位置及び面積	別添「位置図及び事業区域図」参照 1,027㎡	
太陽光発電施設の合計出力	49.5kW (太陽電池の合計出力 99.12kW)	
太陽光 発電事 業の内 内容及び 実施予 定期間	発電電力の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 売電 <input type="checkbox"/> 自家消費 設備ID (なし オフサイトPPA方式により電力売電)
	設置工事着手予定日	2026年7月1日
	設置工事完了予定日	2026年9月1日
	運転開始予定日	2026年10月1日
施設撤去予定日	2056年10月1日	
太陽光発電施設の設置に関する計画	別添「太陽光発電施設設置計画書」参照	
太陽光発電施設の構造に関する事項	地上設置型太陽光発電システムの設計・施工ガイドライン (最新版)および関係法令・技術基準に準拠し、耐風圧・ 積雪荷重を考慮した構造設計とします。 架台は上記基準に基づく製品を採用し、基礎は事前の地盤 調査結果に基づきスクリュー杭を選定のうえ施工します。 また、載荷試験を実施し支持力を確認するとともに、施工 後も適切な維持管理により安全性を確保します。	
景観保全のための措置の検討に関する事項	別添「景観の保全のための措置の検討状況書」参照	
環境の保全のための措置の検討に関する事項 (※環境配慮区域に太陽光発電施設を設置する場合に限る。)	該当なし	
備考	連絡先 (電話番号) 03-3516-6260 (FAX番号) 03-3516-6261 (電子メールアドレス) solar-next-info@renovainc.com	

注1 該当する□内にレ印を記入すること。

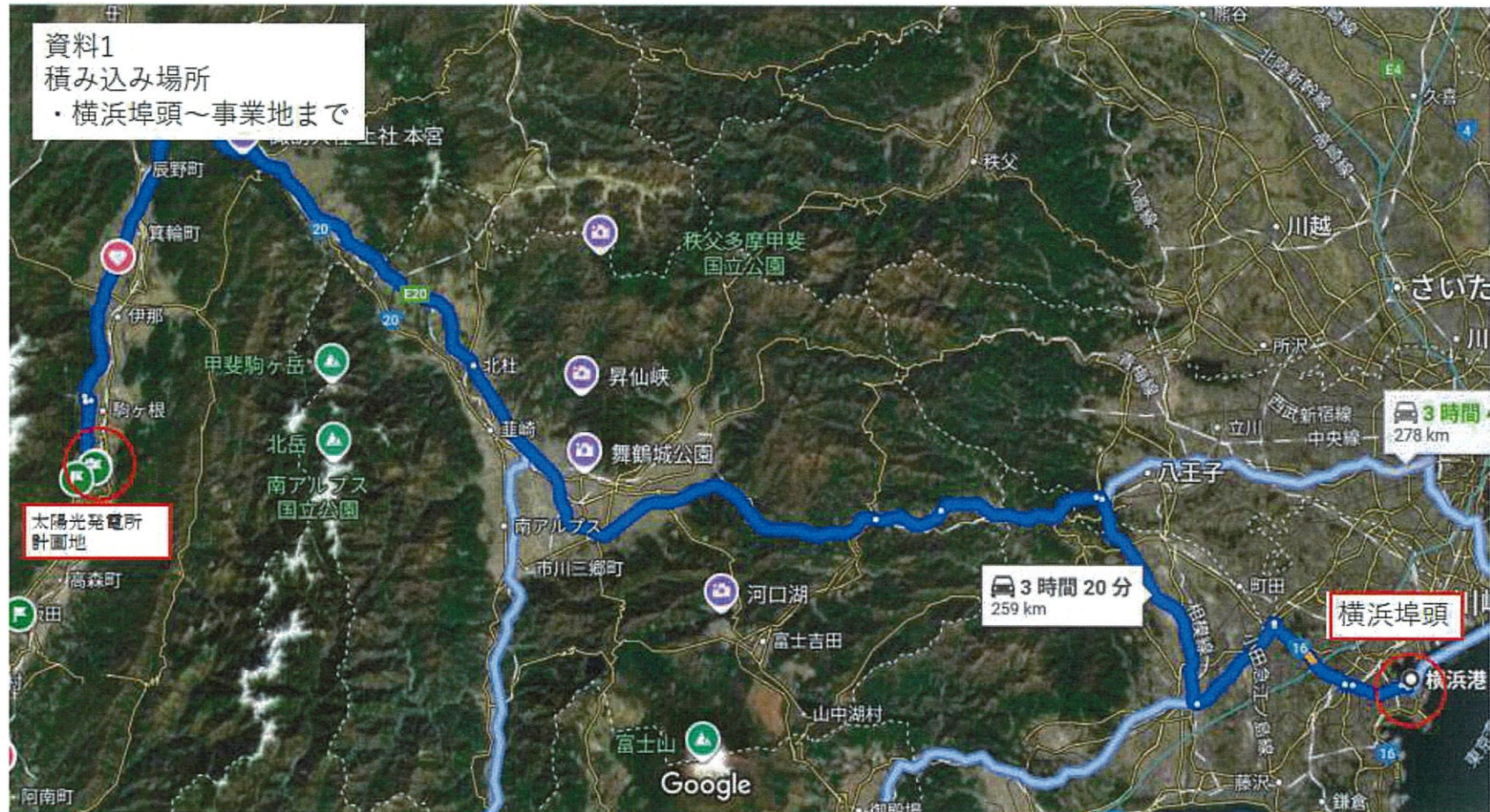
2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、届出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在

- する土地の地番全て記載すること。
- 3 「事業区域の面積」欄には、小数第1位まで記載すること。
  - 4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。
  - 5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。
  - 6 「備考」欄は、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。
- (添付書類)
- 1 位置図
  - 2 事業区域図
  - 3 太陽光発電施設の配置図
  - 4 条例第11条の書面
  - 5 その他知事が必要と認める書類



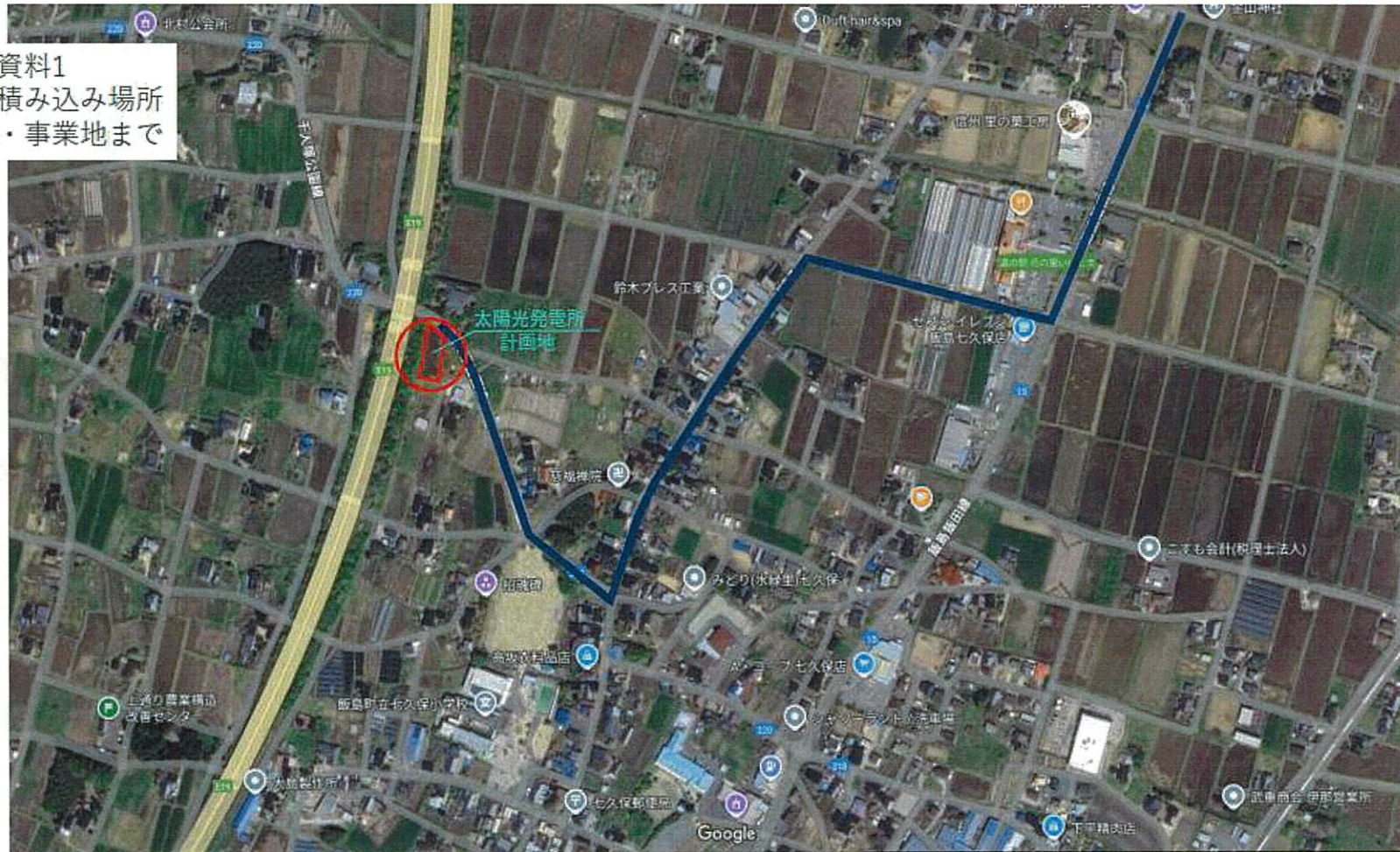


別紙「現地までの地図」



別紙「現地までの地図」

資料1  
積み込み場所  
・事業地まで



景観の保全のための措置の検討状況書

項目	検討事項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	<p>(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。</p>	<p>稜線や斜面上部、高台などには設置せず、平坦な地形を活かして設置する計画としています。 /</p>
	<p>(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること</p>	<p>事業地をフェンスで囲むことで太陽光発電設備の敷地を周囲から直接的に見えにくくし、配置についても圧迫感や威圧感等を与えぬよう配慮しました。 /</p>
	<p>(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。</p>	<p>事業地境界から太陽光パネルまで1m以上離して設置する計画とした。 /</p>
	<p>(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。</p>	<p>大規模な平滑面が連続しないようアレイを分け設置いたします。 /</p>
	<p>(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。</p>	<p>周辺環境から著しく突出しない高さとし、配慮いたしました。 /</p>
	<p>(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。</p>	<p>太陽光パネルの角度を15°で設置します。 /</p>
	<p>(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。</p>	<p>架台は耐食性が高いアルミ架台を使用します。また、太陽光パネルの向きを揃え、統一感のある配置といたしました。 /</p>
	<p>(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。</p>	<p>太陽光パネルの角度を15°で設置いたします。 /</p>
	<p>(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。</p>	<p>事業地をフェンスで囲うことにより太陽光発電設備が道路や周囲から直接的に見えにくい計画としています。 /</p>

項目		検討事項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。	防眩処理を施したパネルを採用しています。 /
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。	色彩は、濃紺とし、低明度・低彩度のものを使用します。 /
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。 (2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。
附帯施設・ 附属施設	(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。	無彩色のフェンス（シルバー）を採用し、周囲の景観と調和するよう配慮いたしました。 /	
	(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。	必要最低限としました。 /	
	(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。	架台はアルミ架台を使用します。また、パワーコンディショナーの色彩についてもライトグレーとし、色彩に配慮しました。 /	
敷地の緑化	(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。	なし /	
	(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。	なし /	
その他	(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。	太陽光パネルの設置角度を15度とし、反射光が上空へと向かうように設計しています。さらにパネルは「低反射」のタイプを使用します。 /	
	(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。	定期的に保守点検を行い、施設設置後も長期間にわたり施設が適切に維持管理されるように努めます。 /	
	(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。	飯島町 建設水道課 都市計画係に確認しました。 / (景観法：適合通知書済)	

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。



共有

Google

撮影日: 2023年10月 © 2025 Google 日本 利用規約 プライバシー 問題の報告

維 持 管 理 計 画

作成日 令和 8 年 4 月 9 日

太陽光発電施設の設置場所	長野県上伊那郡飯島町七久保 3 9 1 6 - 1	
事業者名 (法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名)	住所 東京都中央区京橋二丁目 2 番 1 号 名称 第一太陽光発電合同会社 代表社員 株式会社レノバ 職務執行者 長浜谷直樹 連絡先 03-3516-6260	
保守点検責任者	氏名及び住所	LEAP ENERGY 株式会社 東京都新宿区西新宿六丁目 24 番 1 号 西新宿三井ビルディング 25 階
	電話番号	0120-202-838
合計出力	4 9 . 5 k W	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日 (事業終了予定日)	2056 年 10 月 1 日	
損害保険の加入状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (保険内容 自然災害 電氣的・機械的事故の対応)	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	撤去費用については、売電収入より撤去・廃棄費用積立実施いたします。また、撤去の際には廃棄物処理業者へ依頼し、適切に処理いたします。撤去後は更地とする予定です。	
維持管理計画及び状況の公表方法	問合せがあった場合に開示する	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

<太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容>

保守点検項目に従い巡視を実施する。併せて、遠隔監視装置を使用して定期的に保守点検を行い、災害等の発生をいち早く把握し、適切な対処を講じる。

<土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容>

遠隔監視装置を使用して災害発生を速やかに把握し、関係機関と連絡を取り、周辺環境に影響を及ぼした場合は、速やかに撤去して二次災害が起きないように対策を講じる。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日		
太陽電池アレイ	☑	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年1回			
			端子箱に破損、変形がないか					
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。					
	☑	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。					
	☑	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。				年1回	
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。				年1回	
	☑	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。				年1回	
	☑	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。				年1回	
			接続部に緩み、破損がない。				年1回	
	☑	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。				年1回	
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。				年1回	
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食などの影響がない。				年1回	
ボルト、ナットの緩みがない。			年1回					
固定強度に不足の懸念がない。			年1回					
接続箱	☑	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。	年1回				
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。	年1回				
			雨水、じんあい等の侵入がない。	年1回				
☑	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。	年1回					
漏電遮断	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。	年1回				
	☑	配線	配線に著しいきず、破損がない。	年1回				
パワーコンディショナー	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。	年1回				
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。	年1回				
			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。	年1回				
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない	年1回				

	<input checked="" type="checkbox"/>	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などが無い。		年1回	
--	-------------------------------------	----	-------------------------------	--	-----	--

附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	<input type="checkbox"/>	切土法面	小段の沈下がない。	目視		
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	<input type="checkbox"/>	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
			<input type="checkbox"/>	擁壁	亀裂、割れが生じていない。	
	座屈、段差、傾斜がない。					
つなぎ目にずれがない。						
水抜き穴につまりがない。						
水抜き穴から異常な土砂流出がない。						
地山に変形がない。						
排水設備	<input checked="" type="checkbox"/>	排水溝、拵	水路に落下物等のつまり、堆積がない。		年1回	
			亀裂、ずれがない。		年1回	
			破損がない。		年1回	
			排水設備外への漏水がない。		年1回	
調整池	<input type="checkbox"/>	堤体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。			
			草木の繁茂がない。			

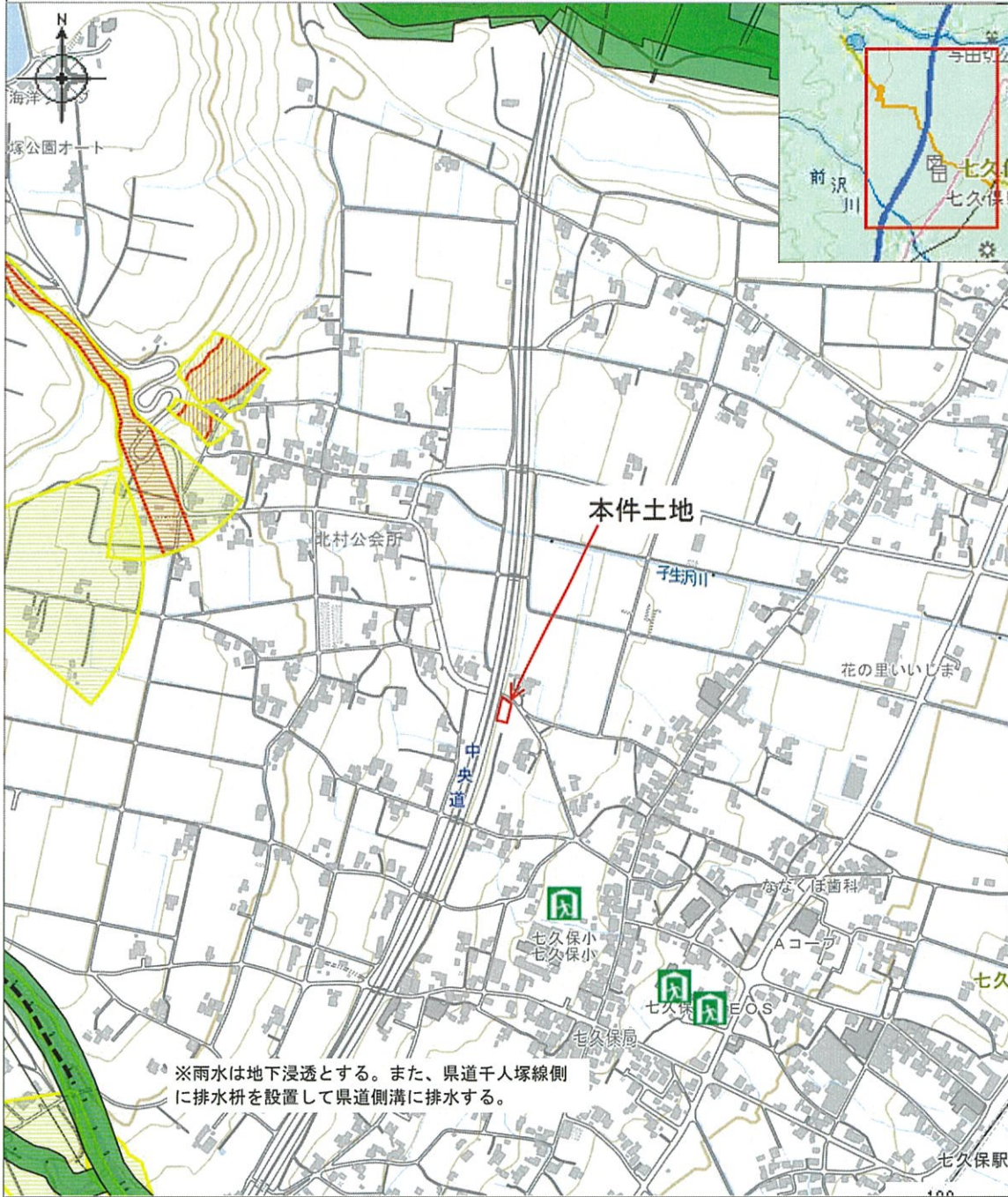
	<input type="checkbox"/>	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。		
	<input type="checkbox"/>	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。 越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。 放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。		
	<input type="checkbox"/>	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。 呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。 吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。 油等の浮遊がない。		
	<input type="checkbox"/>	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。 天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。 貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。 油等の浮遊がない。 下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。		
防護柵、塀	<input checked="" type="checkbox"/>	フェンス(防護柵)	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。	年1回	
	<input checked="" type="checkbox"/>	標識(事業計画、注意喚起)	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。	年1回	
	<input checked="" type="checkbox"/>	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。	年1回	
進入路・管理道	<input checked="" type="checkbox"/>	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。	年1回	
	事業地周辺への土砂の流出がない。		年1回		
	雨水等による洗掘がない。		年1回		
	草木の繁茂がない。		年1回		
設置地盤	<input type="checkbox"/>	舗装あり地盤	亀裂、剝離がない。		
	段差、傾斜がない。				
	空洞の発生（土砂の流出）がない。				
	隆起の発生がない。				
設置地盤	<input checked="" type="checkbox"/>	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。	年1回	
	事業地周辺への土砂の流出がない。		年1回		
	雨水等による洗掘がない。		年1回		
	草木の繁茂がない。		年1回		

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加してください。

事業区域図

防災

中心地 | 上伊那郡飯島町七久保 付近



凡例

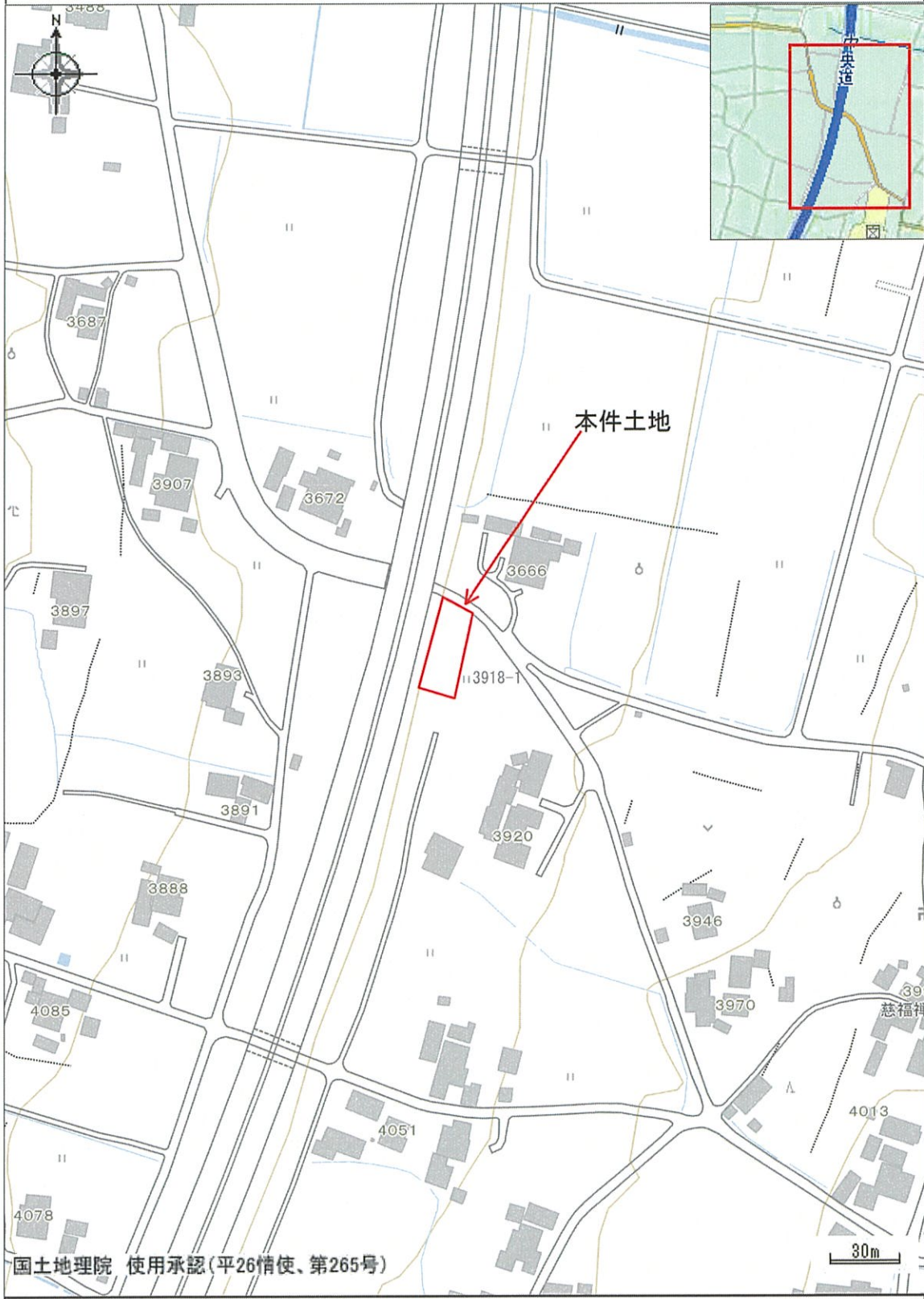
- 砂防指定地 (砂防法)
  山地災害危険地区 (崩壊土砂流出危険地区 (林務))
- (Y急傾斜地の崩壊) (土砂災害防止法)
  (Y土石流) (土砂災害防止法)
- (R急傾斜地の崩壊) (土砂災害防止法)
  (R土石流) (土砂災害防止法)
- 上伊那

印刷日時:2025/09/25 17:31:20

事業区域図

防災

中心地 | 上伊那郡飯島町七久保 付近



国土地理院 使用承認(平26情使、第265号)

印刷日時:2025/09/25 17:29:08

配置図

物件NO. 10747

※隣地要望により自立型PCS（災害時用コンセント）設置



基準風速	30m/s
塩害区分	海岸線・汽水域から 3000m
垂直積雪量	53cm
粗度区分	Ⅲ



登記面積 1027㎡



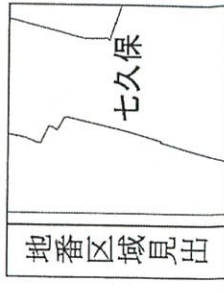
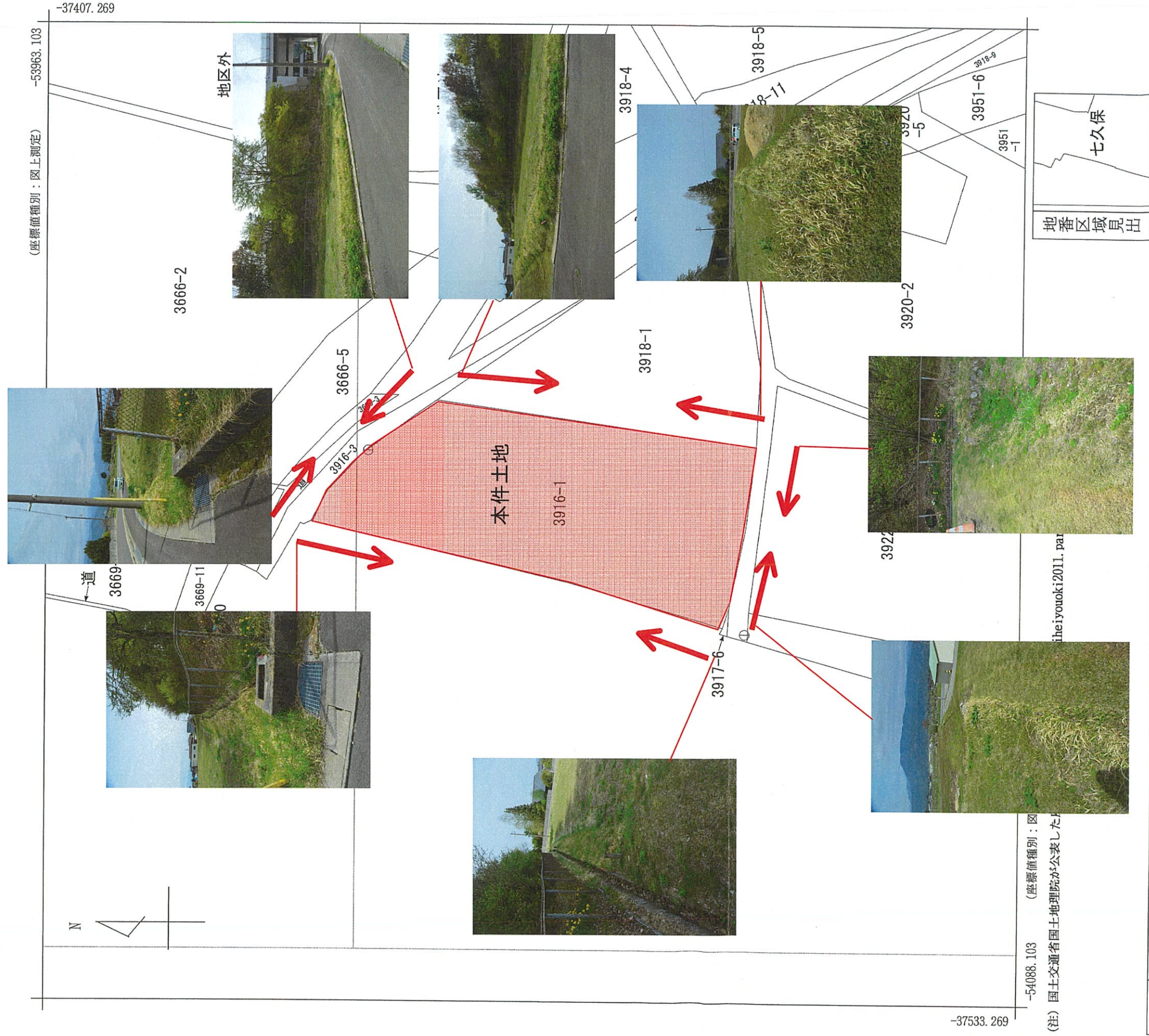
防草シート敷設範囲 280㎡  
 OM防草シート敷設範囲 266㎡  
 畔板：135m  
 最低離隔FU基準1985×0.85≒1700

区画①	設置方位 188°	
申請容量	49.50 kw	
パネル容量	99.12 kw	
系統別パワコン表		
SUN2000-4.95KTL-JPL1	1 台	直×9 直×2 系統
4.95 kwパワコン	1 台	9 直×2 系統
SUN2000-4.95KTL-NHL2	3 台	9 直×2 系統
4.95 kwパワコン	6 台	8 直×2 系統
設備機器表（低圧）		
モジュール	JKM590N-72HL4-BDV-J	168 枚
パワコン	SUN2000-4.95KTL-JPL1	1 台
	SUN2000-4.95KTL-NHL2	9 台
マスター機器	SmartLogger3000A	1 台
遠隔監視システム		式
設置仕様		
架台	アルミ架台：横4段15°	
アレイ設置	アレイ間前後距離=2400mm	
	アレイ仕上高さ= GL+800以上確保	
フェンス	H=1,200mm 1m片扉 外周=140m	
<ul style="list-style-type: none"> <li>▲ 内線引込柱 69マ012から約3m</li> <li>⊕ 電柱</li> <li>— 地積調査成果境界線</li> <li>— 現況</li> <li>- - - フェンス 敷地境界より500mm以上内側</li> <li>⋯ 離隔 フェンスより1000mm内側</li> </ul>		

御道法面+樹木高=15m

設置住所  
長野県上伊那郡飯島町七久保3916-1

縮尺 1/300  
用紙サイズ:A3  
図面名称 太陽電池パネル配置図



請求部分	所在	上伊那郡飯島町七久保		地番	3916番1	補記事項
出力縮尺	1/500	精度分	乙一	地図(法第14条第1項)	分類	種類
作成年月日	平成13年2月	座標系又は番号は記号	VIII	分	類	地籍図
		備付年月日(原図)				

(第11条・第13条関係)

事業基本計画説明状況書

令和8年4月 9日作成

事業者の住所・氏名 (法人にあつて、主たる事務所の 所在地、名称及び代表者の氏名)	住 所 東京都中央区京橋二丁目2番1号 氏 名 第一太陽光発電合同会社 代表社員 株式会社レノバ / 職務執行者 長浜谷直樹	
事業太陽光発電施設の設置の場所	長野県上伊那郡飯島町七久保 <del>3-8-1-6</del> <sup>3916</sup> -1 (設備IDなし オフサイトPPA方式により電力売 電予定)	
説明会開催についての周知の方法 とその範囲	長野県のホームページ/(条例の対象事業 手続状 況の公表ページ) にて、周知した	
説明会 の 概 要	日時	令和7年10月10日 (金) ※参加希望者がいなかったため、事業基本計画説 明会の開催はしていない /
	場所	北村公会所 / (長野県上伊那郡飯島町七久保3436-1) ※説明会を開催する場合は上記を予定していた が、参加希望者がいなかったため事業基本計画説 明会の開催はしていない
	参加者数	0人 /
	説明を行った者の氏名 (法 人にあつては、氏名及び役 職名)	FRESH UP株式会社 宮内典和 ※参加希望者がいなかったため、事業基本計画説 明会の開催はしていない /

注1 説明会を2回以上開催した場合は、説明会ごとに作成すること。

(添付資料) 1 説明会で配布した説明資料

2 説明会で説明した内容、参加者の要望及び意見並びにそれらへの回答等につ  
いて具体的に記載した議事録

N747

## 上伊那郡飯島町 太陽光発電システム設置工事計画

施工：**FRESH UP**株式会社

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、上伊那郡飯島町において太陽光発電システムの設置工事計画を進めさせていただくこととなりましたので、工事の概要をご説明させていただきます。

生活環境・景観・防災安全に配慮するとともに、適切な維持管理や事業終了後の撤去・廃棄に至るまで関係法令等遵守を最優先として、ご近隣の皆様へのご迷惑を最低限にすべく進めてまいります。

つきましては近隣住民の皆様のご理解とご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

※ 工事の内容はご説明時における計画に基づいています。  
やむを得ない事情により変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

## ■ 設置予定地 -航空写真-



## ■ 設置予定地 -ゼンリン地図-



## ■ 事業概要 -設置予定地-

計画地	面積
上伊那郡飯島町七久保3916番1	1,027㎡
合計	1,027㎡

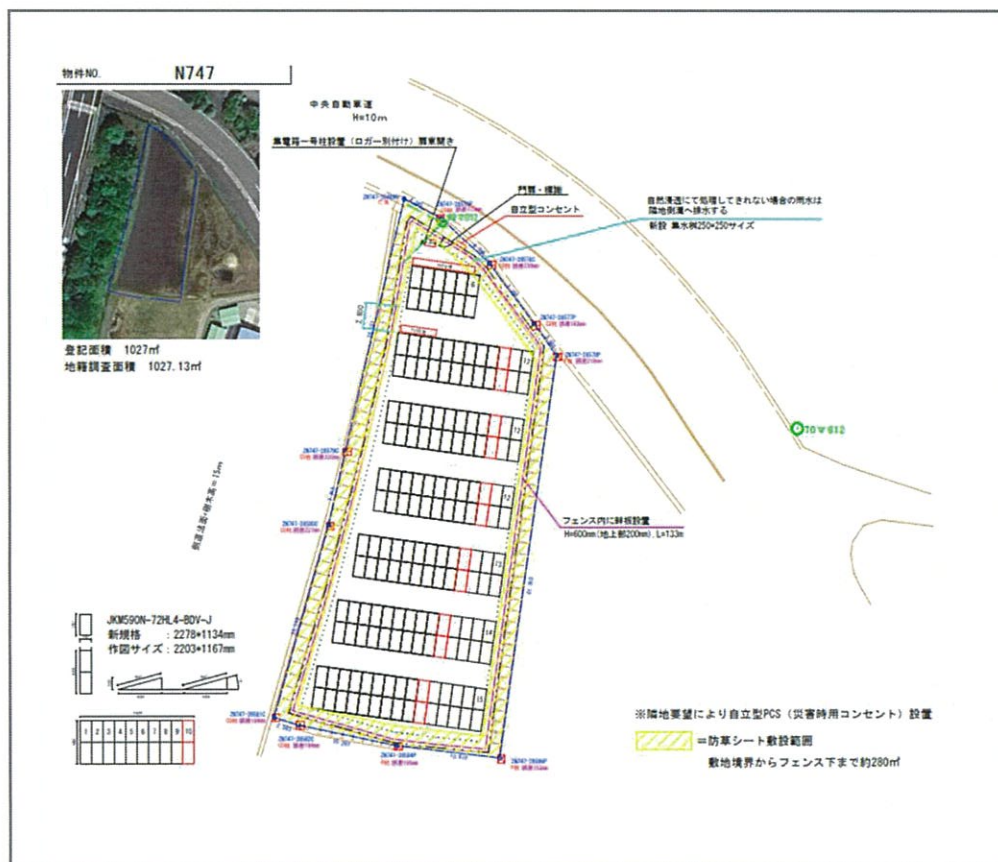
施工業者	
事業者名	<b>FRESH UP株式会社</b> (フレッシュアップ カブシキガイシャ)
所在地	東京都新宿区西新宿6丁目24番1号 西新宿三井ビルディング25階
電話番号	03 - 6911 - 0885
担当者 携帯電話	宮内 典和 (ミヤウチ ノリカズ) [Redacted]

工事着手予定日	運転開始予定日
2025年12月	2026年1月

発電事業者	
事業者名	第一太陽光発電合同会社
所在地	東京都中央区京橋二丁目2番1号
代表社員	株式会社レノバ 職務執行者 長浜谷直樹
電話番号	03-3516-6260

管理受託
<b>LEAP ENERGY株式会社</b> (所在地：FRESH UP株式会社の所在地と同様)

## ■ パネルレイアウト -設置予定地-



システム総容量

49.5kw

太陽光パネルの種類

単結晶590w

パネル枚数

168枚

モジュール総出力

99.12kw

※  $590w \times 168枚 = 99120w = 99.12kw$   
北側に設置予定のパワーコンディショナーにて  
49.5kwの発電量となるように制御します

※ フェンスは境界から約30cm内側、  
パネルはフェンスから約1m内側に設置予定



## ■ 生活環境への配慮

### 工事の騒音について

作業は原則下記時間帯で実施しますが、途中で中断できない作業や緊急時で安全維持に必要な作業は実施させていただきます。また作業準備、撤収準備の関係で開始・終了時間が前後する場合があります。

《作業日・時間帯》

平日及び土曜日（遅延発生時は、工程厳守の為、日曜日及び祝日も作業を行う場合があります）

4月～10月（午前8時から午後7時）、11月～3月（午前8時～日没）

大型車の通行や工事等に伴う騒音についてご迷惑がかからないよう努めますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

### 太陽光発電システム設置後の騒音について

システム稼働中に音が出るのは「パワーコンディショナー」と呼ばれる機材ですが、その騒音は29dB（デシベル）以下です。29dBの音は一般的に人のささやき声程度の音量とされています。騒音の目安は、別紙1『生活騒音』をご参照ください。

### パネル反射光の対策

反射光が上部に逃げるように、パネル勾配は15度で設計しています。  
なお、パネルは「低反射」のタイプを使用します。

## ■ 景観・防災・安全への配慮①

### 柵塀（フェンス）の設置

外部から容易に発電設備に触れること、構内に立ち入ることができないように、柵塀（フェンス）を設置します。

フェンスの使用材料についてはロープ等の簡易なものではなく、第三者が容易に取り除くことができない金属製のものを使用し、周辺の景観になじみやすい色彩（グレー等）のフェンス（高さ1.2m）を外周に設置します。

### パネルの色彩

黒い色彩の単結晶太陽光パネルを使用します。

## ■ 景観・防災・安全への配慮②

### 排水・雨水対策

雑排水や汚水の排出はありません。雨水は自然浸透処理いたします。

### 設備面での安全対策

地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドラインを基に設計・施工を行っております。  
また、太陽光発電所の使用開始前に電気事業法施行規則により義務化されている使用前自己確認を実施し、その結果を経済産業省へ届出の上、使用を開始させていただきます。

### 工事の際の安全確保

資材及び重機の搬入時には道路使用許可を取得した上で通行規制をかけて対応させていただきます。  
通行止めのおよそ1週間前までに看板を設置し、告知させていただきます。  
なお、通行規制は作業時のみとし、作業を行っていない間は規制解除させていただきます。

## ■ 適切な維持管理及び撤去・廃棄についての計画①

### 定期的な保守点検

太陽光発電設備およびその敷地については、定期的に保守点検を行うとともに、機器の故障など問題が発生した場合は速やかに対処し適切に維持管理に努めます。（遠隔監視装置使用）

### 防草対策

定期的な除草にて管理し、周辺の農地への配慮に努めます。

### 周辺環境への対応

設備の破損、雨水流出などが発生した場合は速やかに対処し適切な維持管理に努めます。

## ■ 適切な維持管理及び撤去・廃棄についての計画②

### 看板の設置

管理責任者の連絡先が明記された看板(※)を現地に設置し、近隣の皆様からのお問合せ先を明示します。経年劣化により、記載内容の確認が困難となった際は即時看板交換等の対応をさせていただきます。

### 災害発生時の対応

落雷・洪水・積雪・地震などが発生した場合は速やかに確認します。異常が発見された場合は早急に対応し適切な維持管理に努めます。

### 撤去・廃棄

事業終了後は、廃棄物処理法・建設リサイクル法および「太陽光発電設備のリサイクル等の推進にむけたガイドライン（環境省）」に基づき事業者の責任において適切に処理いたします。

## ■ 主な作業工程



①基礎のスクリュー杭を埋設します。



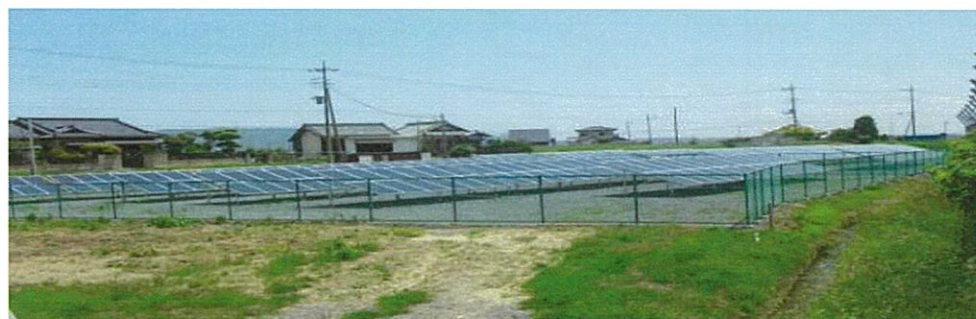
②基礎状に架台を組み立てます。



③架台にパネルを設置します。



④パワーコンディショナーを設置します。



⑤完成のイメージ写真